

市民アンケート

1 調査の目的

本市では文化財等の資源をみんなで守り、活用し、まちの魅力の向上や、より豊かな暮らし等、地域の活性化へつなげるため、市民・地域と行政が協働で取り組む「文化財保存活用地域計画」を作成する予定です。この調査は、現状を把握し、計画策定にあたっての基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2 調査の方法

- ①調査対象地域 伊賀市全域
- ②調査対象者 伊賀市在住の18歳以上の方から2,500人を無作為抽出
- ③調査期間 令和3年9月28日～10月20日
- ④調査方法 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3 配布・回収数

調査票によるアンケートについては2,500通の配布に対し、900通の回答がありました。

※令和3年11月1日～11月30日にはWebアンケートを実施し、70件の回答がありました。

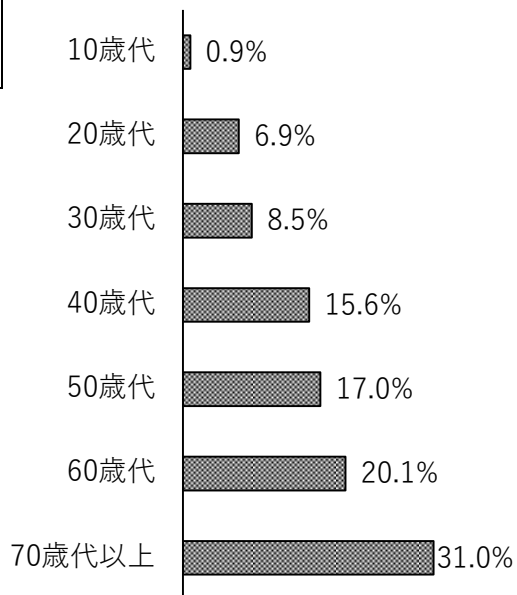
調査結果

※自由記述の設問（問5.8.12.17.21）については、本資料では省略してあります。

1 回答される方について

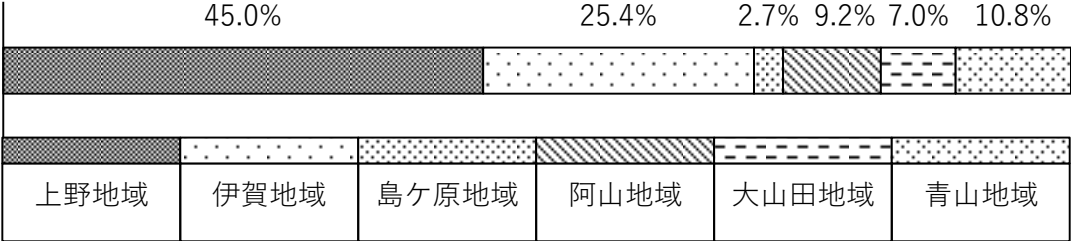
問1 あなたの年代をお聞かせください。【N=967】
(以下、Nは有効回答数です。)

回答者の年代については、「70歳代以上」が31.0%と最も高く、次いで「60歳代」が20.1%、「50歳代」が17.0%と続いています。



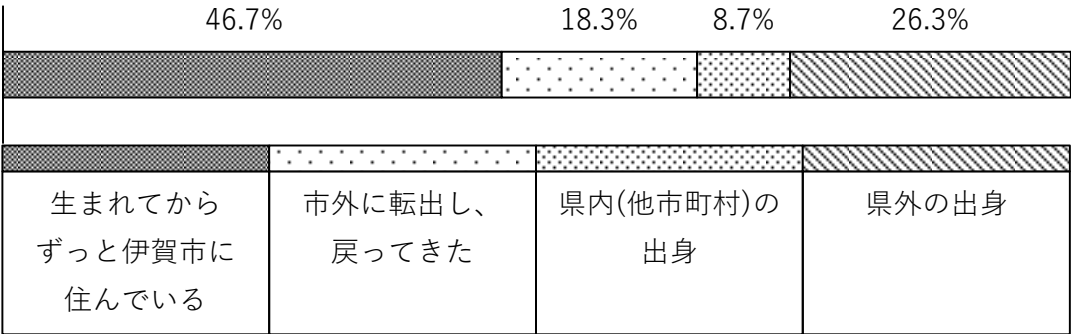
問2 あなたのお住まいの地域をお聞かせください。【N=961】

回答者の居住地域については、「上野地域」が45.0%と最も高く、次いで「伊賀地域」が25.4%、「青山地域」が10.8%と続いています。



問3 あなたの出身地を教えてください。【N=966】

出身地については、「生まれてからずっと伊賀市に住んでいる」が46.7%と最も高く、次いで「県外の出身」が26.3%、「市外に転出し、戻ってきた」が18.3%と続いています。

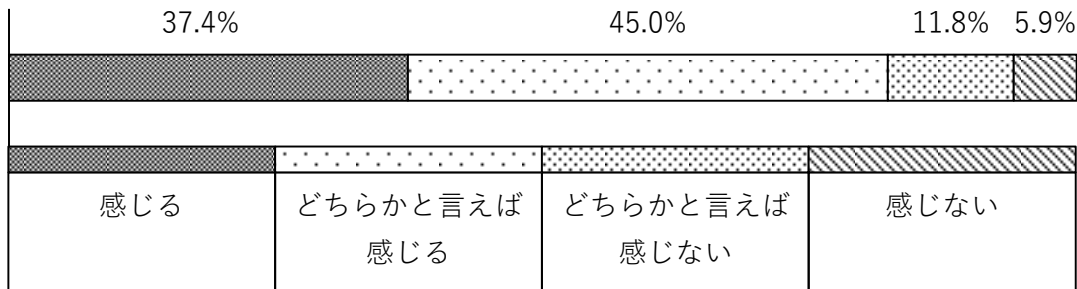


2 伊賀市や文化財について

問4 あなたは伊賀市に愛着や誇りを感じますか。【N=961】

伊賀市に愛着や誇りを感じるか聞いたところ、「どちらかと言えば感じる」が45.0%と最も高く、次いで「感じる」が37.4%、「どちらかと言えば感じない」が11.8%と続いています。

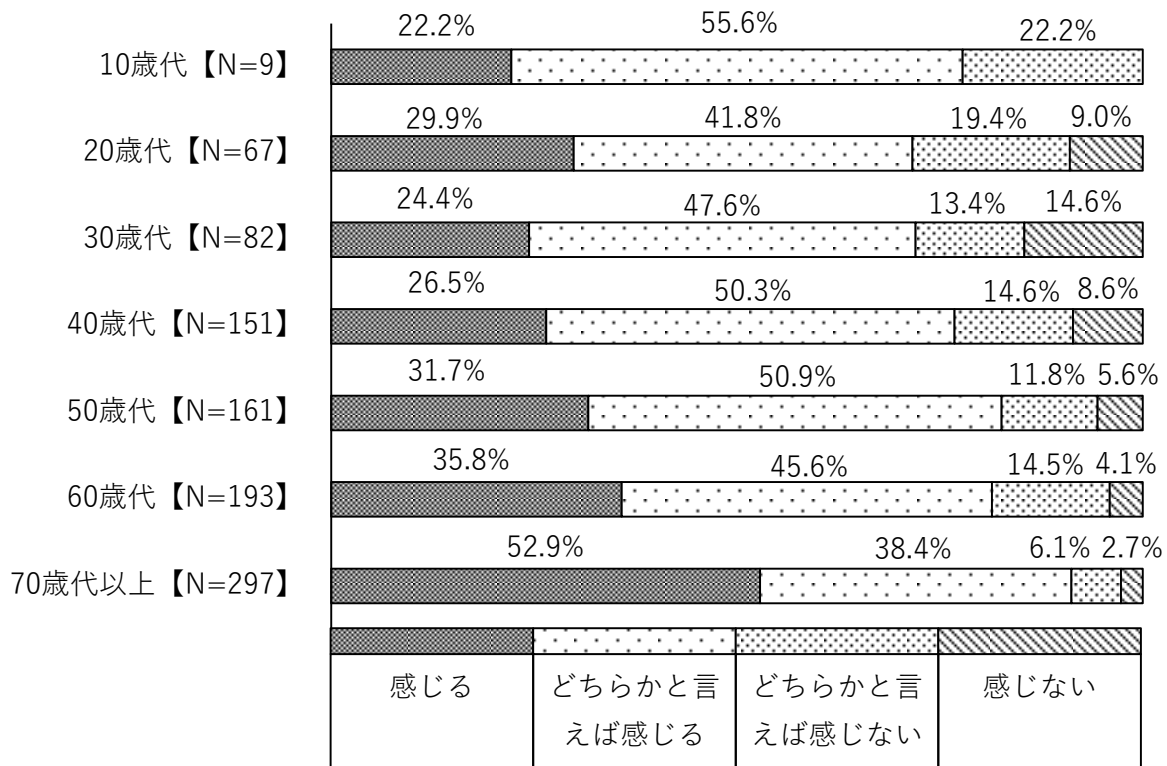
「感じる」と「どちらかと言えば感じる」を合わせた『愛着や誇りを感じる』は82.4%となっています。



年代別クロス

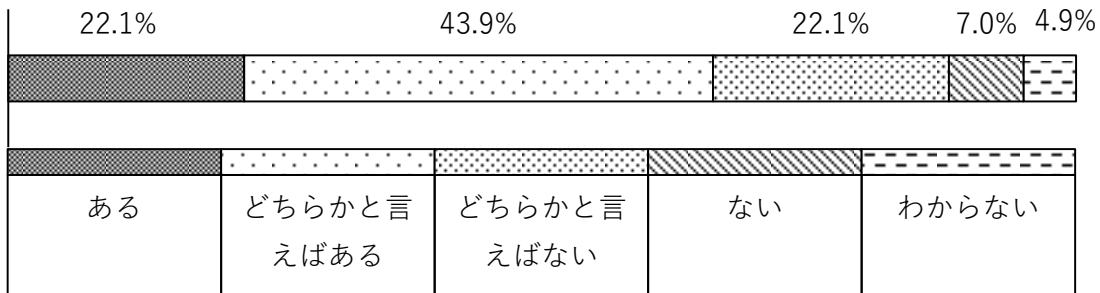
こちらの資料では省いてありますが、以下のように、属性（年代別、地域別）などによるクロス集計で、特徴や違いがあるかなども分析しています。

年代別にみると、『愛着や誇りを感じる』は「50歳代」以上では80%を超え、「70歳代以上」では91.3%と最も高くなっています。



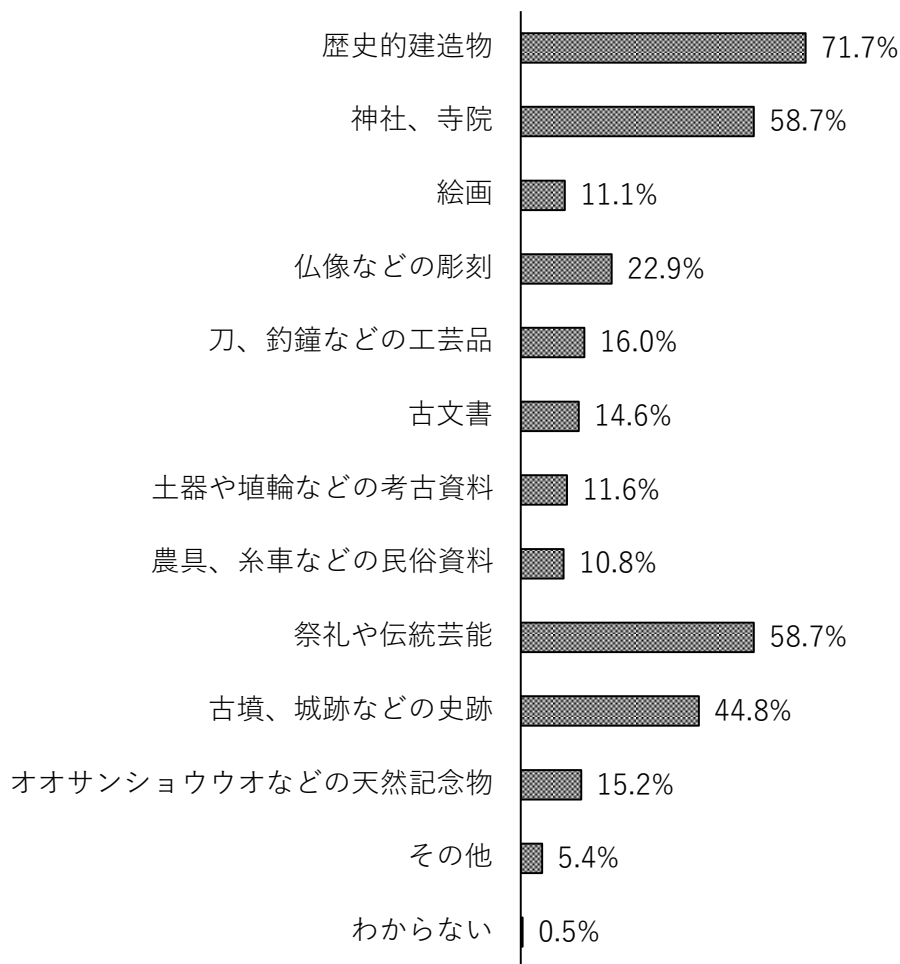
問6 あなたは地域の文化財に興味・関心がありますか。【N=962】

地域の文化財に興味・関心があるか聞いたところ、「どちらかと言えばある」が43.9%と最も高く、次いで「ある」、「どちらかと言えばない」が22.1%、「ない」が7.0%と続いています。
 「ある」と「どちらかと言えばある」を合わせた『地域の文化財に興味・関心がある』は66.0%、「ない」と「どちらかと言えばない」を合わせた『地域の文化財に興味・関心がない』は29.1%となっています。



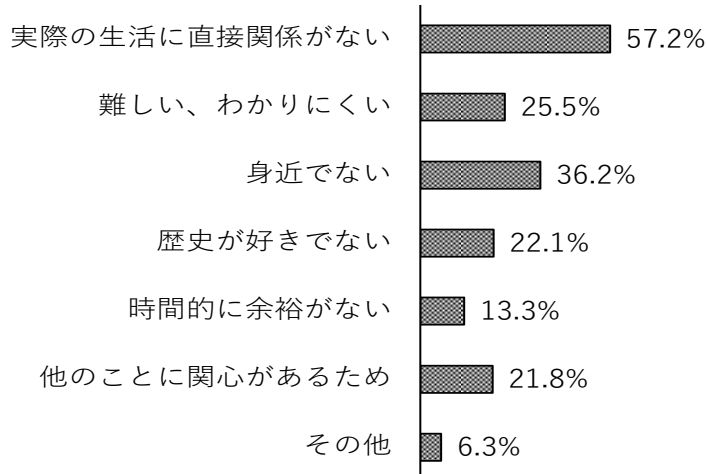
問7 問6で「ある」「どちらかと言えばある」と回答した人におたずねします。どのような文化財に興味・関心がありますか。【N=632】

地域の文化財に興味・関心がある人にどのような文化財に興味・関心があるか聞いたところ、「歴史的建造物」が71.7%と最も高く、次いで「神社、寺院」、「祭礼や伝統芸能」が58.7%、「古墳、城跡などの史跡」が44.8%と続いています。



問9 問6で「ない」「どちらかと言えない」と回答した方におたずねします。あなたが文化財に興味・関心がないのはなぜですか。【N=271】

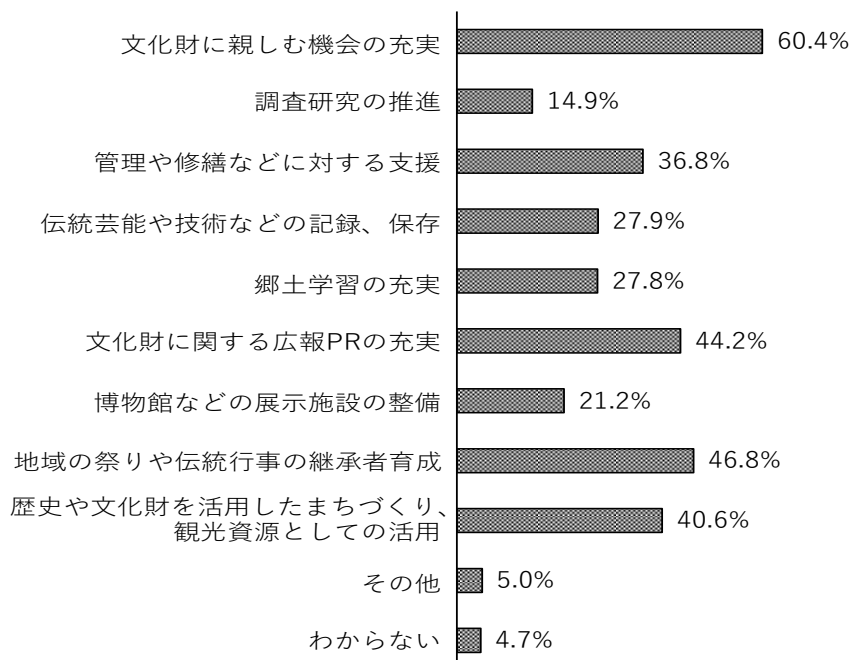
文化財に興味・関心がない人にその理由を聞いたところ、「実際の生活に直接関係がない」が57.2%と最も高く、次いで「身近でない」が36.2%、「難しい、わかりにくい」が25.5%と続いています。



3 文化財を守り、伝えることについて

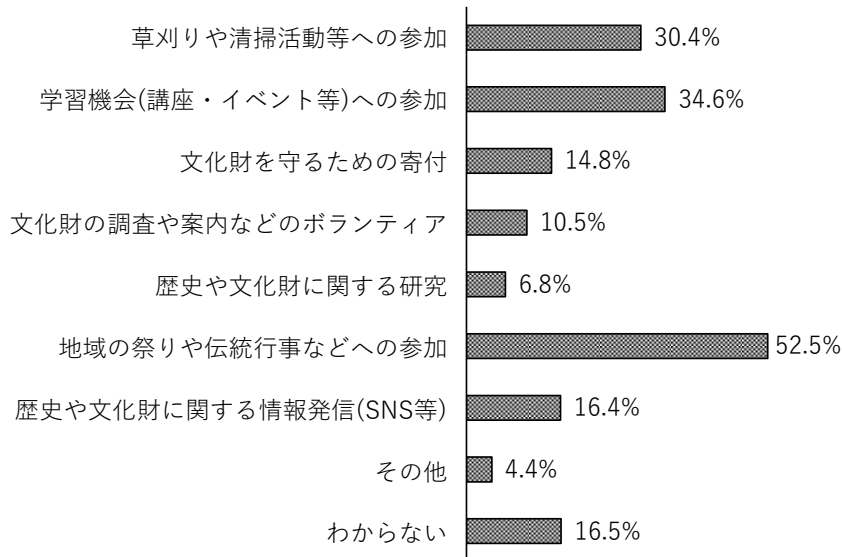
問10 伊賀市の文化財を保存し、次世代に適切に継承していくために、市はどのようなことに力をいれるべきだと思いますか。【N=949】

伊賀市の文化財を保存し、次世代に適切に継承していくために、市はどのようなことに力をいれるべきだと思うか聞いたところ、「文化財に親しむ機会の充実」が60.4%と最も高く、次いで「地域の祭りや伝統行事の継承者育成」が46.8%、「文化財に関する広報PRの充実」が44.2%と続いています。



問11 伊賀市の文化財を保存し、次世代に適切に継承していくために、あなたが協力できることと考えられることはなんですか。【N=928】

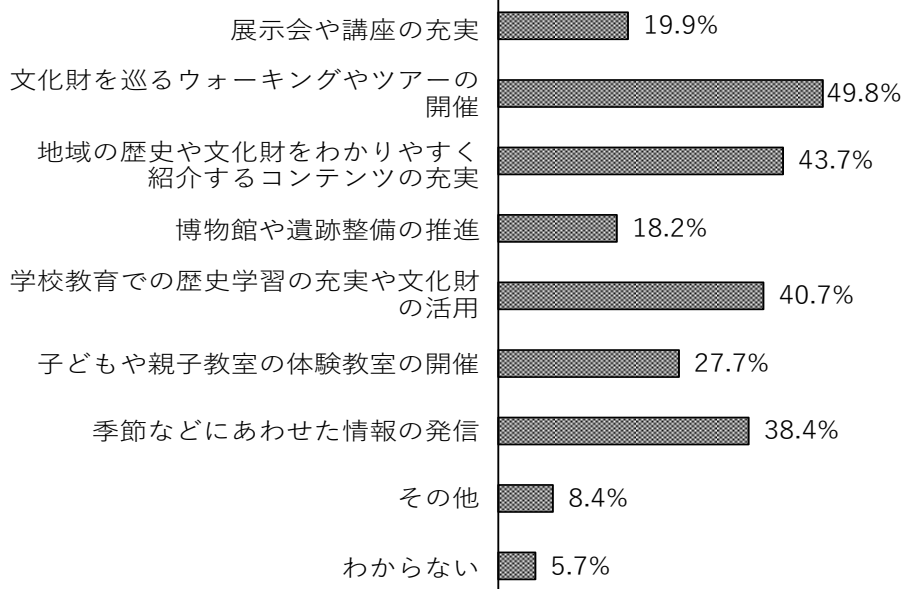
伊賀市の文化財を保存し、次世代に適切に継承していくために、協力できること、考えられることについて聞いたところ、「地域の祭りや伝統行事などへの参加」が52.5%と最も高く、次いで「学習機会(講座・イベント等)への参加」が34.6%、「草刈りや清掃活動等への参加」が30.4%と続いています。



4 文化財を活用することについて

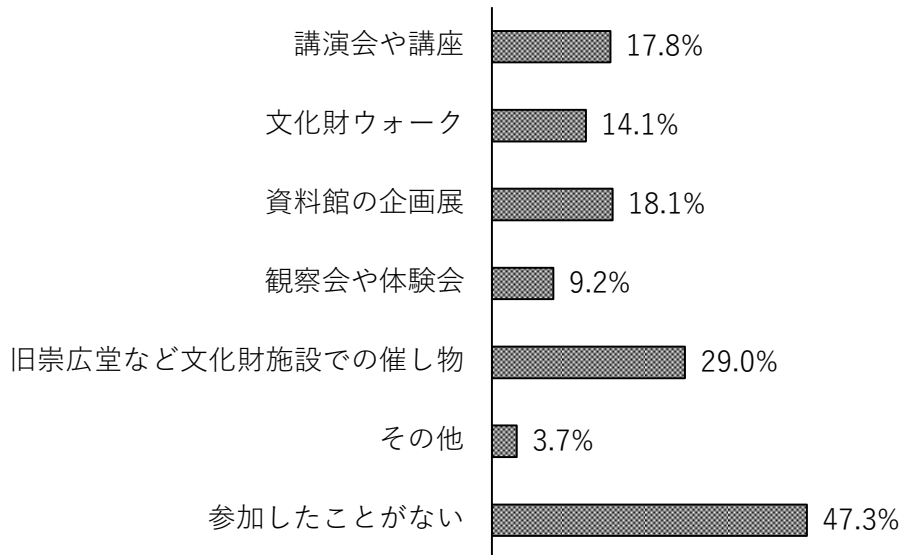
問13 多くの人に伊賀市の歴史や文化財に興味・関心を持ってもらうためには、どのような工夫が必要だと思いますか。【N=934】

伊賀市の歴史や文化財に興味・関心を持ってもらうために、どのような工夫が必要かを聞いたところ、「文化財を巡るウォーキングやツアーの開催」が49.8%と最も高く、次いで「地域の歴史や文化財をわかりやすく紹介するコンテンツの充実」が43.7%、「学校教育での歴史学習の充実や文化財の活用」が40.7%と続いています。



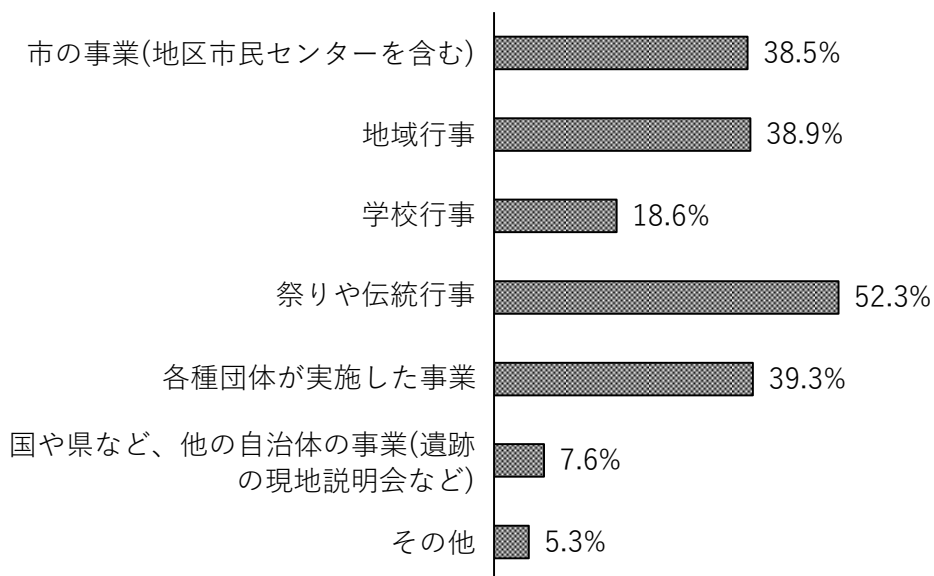
問14 あなたは、次のような市内で開催された文化財等に関係した展示・講座やイベントに参加したことがありますか。【N=934】

市内で開催された文化財等に関係した展示・講座やイベントへの参加したことがあるか聞いたところ、「参加したことがない」が47.3%と最も高くなっています。参加したことがある展示・講座やイベントについては、「旧崇広堂など文化財施設での催し物」が29.0%と最も高く、次いで「資料館の企画展」が18.1%、「講演会や講座」が17.8%と続いています。



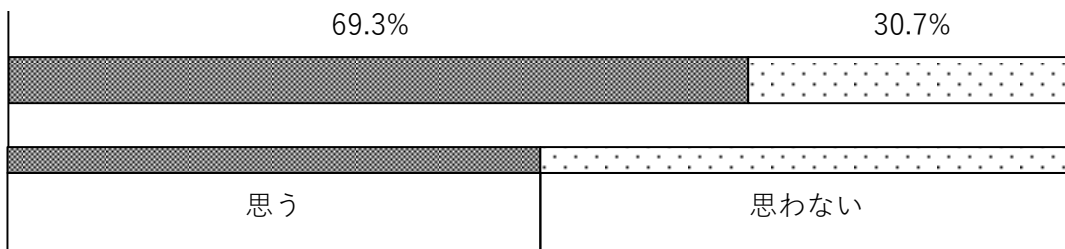
問15 どのような機会に参加をされましたか。【N=488】

どのような機会に参加したか聞いたところ、「祭りや伝統行事」が52.3%と最も高く、次いで「各種団体が実施した事業」が39.3%、「地域行事」が38.9%、「市の事業(地区市民センターを含む)」が38.5%と続いています。



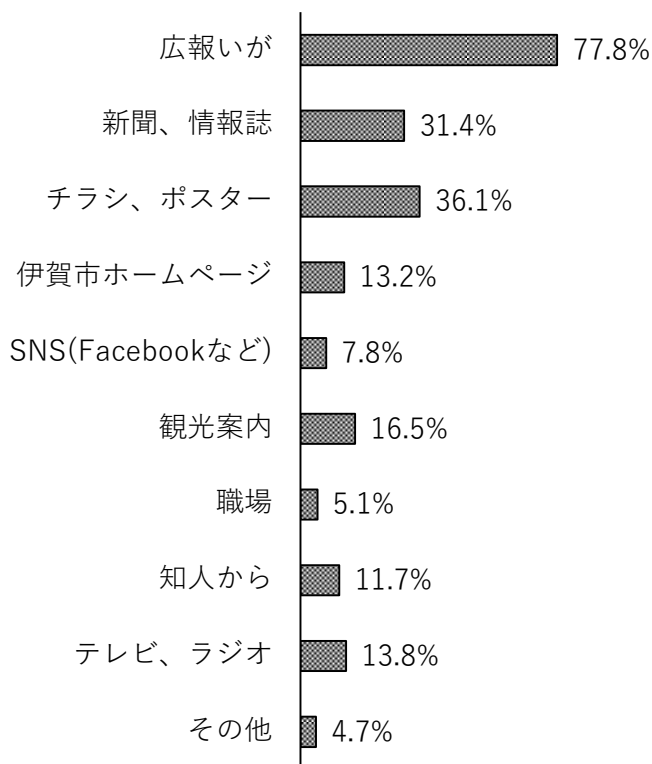
問16 もう一度、見学や参加をしたいと思いませんか。【N=635】

もう一度、見学や参加をしたいと思うかについて聞いたところ、「思う」が69.3%と約70%を占めており、「思わない」は30.7%となっています。



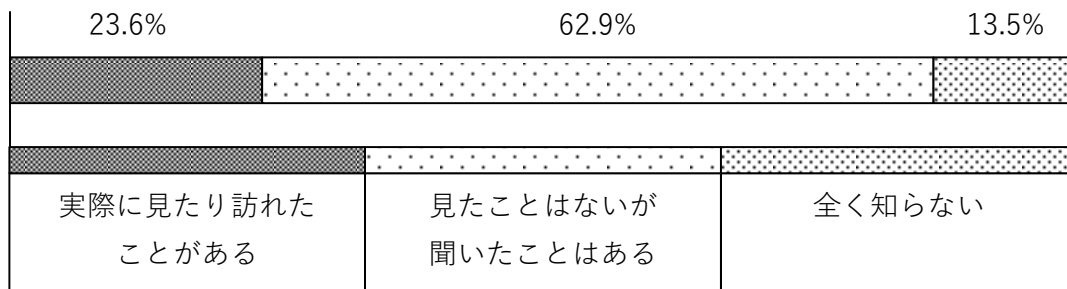
問18 市の文化財等に関する情報をどこで見たり、聞いたりすることが多いですか。【N=930】

市の文化財等に関する情報の入手先については、「広報いが」が77.8%と最も高く、次いで「チラシ、ポスター」が36.1%、「新聞、情報誌」が31.4%と続いています。



問19 最近、文化財の建物や古民家を活かしたまちづくり、地域づくりの取り組みが各地で進められていることを知っていますか。【N=943】

文化財の建物や古民家を活かしたまちづくり、地域づくりの取り組みが各地で進められていることを知っているか聞いたところ、「見たことはないが聞いたことはある」が62.9%と最も高く、次いで「実際に見たり訪れたことがある」が23.6%と続いています。一方、「全く知らない」は13.5%となっています。



問20 古民家や文化財の建物を利活用する場合、どのような方法が望ましいですか。【N=918】

古民家や文化財の建物を利活用する場合の望ましい方法を聞いたところ、「カフェ」が58.8%と最も高く、次いで「地域の交流・活動の場」が44.2%、「宿泊施設」が31.5%と続いています。

